

事務事業実績測定調査

事務事業名称	中学校給食における全員給食実施事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	総合教育部			課	おいしい給食課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち								
	実行計画名										
1. 事務事業の概要											
種類	市民サービス			特性	選択的事业			区分	一般事務事業		
事業期間	2020(R2)年度			年度	~				年度まで		
根拠法令等	学校給食法										
関係補助金名称								サンセット			-
関係附属機関名称	枚方市中学校給食あり方懇話会										
事業対象	メインターゲット		市立中学校生徒								
	サブターゲット		市立中学校生徒の保護者								
	ターゲットが抱える課題		<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の健康増進と栄養バランスの確保 ・食への理解、望ましい食習慣など食育の推進 								
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	成長期にある中学生が食育の実践とも言える、栄養バランスのとれた安全・安心な学校給食を安定して摂ることで、健康な身体をつくとともに、生涯に渡る健康で豊かな食生活を送るための基礎を培うことが期待できる全員給食の実施。										
事業概要	中学校給食は、子どもたちに栄養バランスの良い豊かな食事を提供するもので、健康増進や体位向上に加え、食育の教材として活用しやすくなり、より豊かな学校生活をめざすため、中学校の全員給食を行う。										

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
ロジックモデル		生徒にとって望ましい持続可能な全員給食を実施でき、全生徒が栄養バランスの取れた安全安心な給食を安定的に摂ることで、より豊かな学校生活の実現が可能になる。				方針に基づいた諸活動について、適切に進めていく。				有識者・PTA・学校関係者等で構成する会議体により、持続可能で且つ生徒にとって望ましい給食のあり方を検討し方針を策定。その方針に基づき、施設・環境整備等を実施。			
指標設定	指標説明	全員給食実施率 【算出式: 全員給食実施校数/全中学校数×100】				各年度における活動達成率 【算出式: 達成件数(累計)/本事業の給食提供が可能となるまでの各段階での諸活動数×100】				本事業の給食提供が可能となるまでの各段階での諸活動の達成件数(累計) (意見聴取⇒方針策定⇒各種改修・備品整備⇒委託契約⇒学校・保護者説明など7段階の15活動)			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	0	0	0	100	10	33	100	-	2	5	15	-
	実績	5	0			0	20			0	3		
	達成度					61%				60%			
分析	令和3年度はすべての中学校において、全員給食の実施はできなかった。				有識者や小中の学校長、PTA等から今後の中学校給食についての意見聴取を行ったが、最終の開催が3月末となったため、年度内に取りまとめができなかった。				中学校給食あり方懇話会の開催、配膳室の冷房設備等は実施できたが、今後の中学校給食における方針の策定には至らなかった。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.90
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	—	15,950	7,071		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—		0		
	特別職非常勤	—		0		
	附属機関委員	—		0		
	人件費計	—	15,950	7,071		
	物件費計	—		0	0	—
	歳出計	—	761	7,071		
歳入	国庫支出金	—	0	0	0	
	府支出金	—	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	0	0	0	
	市債	—	0	0	0	
	その他	—	0	0	0	
	歳入計	—	0	0	0	
	一般財源	—	761	7,071	0	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>中学校給食が始まり6年が経過した中で、有識者、小中学校の学校長、PTA、栄養教諭から意見聴取を行う「中学校給食あり方懇話会」を開催したことで、現在の課題や、生徒にとって望ましい持続可能な中学校給食についての方向性を知ることができた。また、全中学校の配膳室へのエアコン設置が完了し、給食提供における衛生的な環境を整えることができた。</p>
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	「中学校給食あり方懇話会」での意見を基に方針を策定するとともに、児童生徒及び保護者からも中学校給食におけるアンケート調査を行い、生徒にとって望ましい持続可能な中学校給食の実現に向け引き続き取り組んでいく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	小学校給食事業													
測定年度	2021(R3)年度				部	総合教育部				課	おいしい給食課			
市長公約との関係	所信表明			市政運営方針	R2	R3			R4					
総合計画体系	基本目標			3.一人ひとりの成長を支援、豊かな心を育むまち										
	施策目標			16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち										
	実行計画名			16-3.学校園施設等の整備										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性	選択的事业		区分	一般事務事業					
事業期間	2015(H27)年度			年度	~		年度まで					
根拠法令等	学校給食法											
関係補助金名称											サンセット	-
関係附属機関名称												

事業対象	メインターゲット	枚方市立小学校で学校給食を喫食する児童										
	サブターゲット	児童の保護者										
	ターゲットが抱える課題	子どもたちの食生活の栄養の偏り、不規則な食事、肥満や生活習慣病の増加、過度の痩身志向などの課題がある。										
	ターゲットが抱える課題											

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	子どもたちに学校給食を通じて、食育を行い生涯にわたって健全な心と身体を培い豊かな人間性をはぐくむことが出来る状態。											
---------------------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業概要	市内の市立小学校の児童を対象に、2か所の共同調理場、5か所の親子調理場及び22か所の単独調理場において調理、配送、食器・食缶等の洗浄、物資搬入管理、衛生・安全管理等の業務を直営または委託で実施するとともに、米飯の炊飯や検便等の業務について業務委託により実施する。											
------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	給食を通じて、児童の心身の健康が育まれる。				アウトプット (活動結果)	児童が安全で栄養バランスのとれた給食を摂ることができる。				インプット (活動)	給食を調理し、提供する。			
	指標説明	給食提供食数に対する喫食率 【算出式: 喫食食数/給食提供食数×100】				調理食に対する提供率 【算出式: 給食提供食数/調理食数×100】				小学校児童数及び教員数					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	100	100	100	100	100	100	100	100	22,192	21,110	21,305	20,813		
	実績	100	100			100	100			22,345	21,110				
	達成度	100%				100%				100%					
分析	年度当初に予定していた給食実施日に滞りなく給食を提供し、全児童が喫食することができた。				給食調理を行い、問題なく提供することができた。				児童教職員全員に対し、問題なく給食提供できた。						

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	47.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	38.77
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	400,110	336,140	361,305		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	154,277	8,625	149,606		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	554,387	344,765	510,911		
	物件費計	853,799	852,304	539,257	573,385	94%
	歳出計	1,408,186	1,197,069	1,050,168		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	260	212	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計	260	212	0	0
	一般財源	1,407,926	852,092	539,257	573,385	

5. 総括的分析

総括的分析	児童の身体の健全な発達に資するため、共同調理場及び単独調理場で調理した安全で栄養バランスのとれたおいしい学校給食を調理し、児童へ提供することができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	児童に、安全で栄養バランスのとれた給食をおいしく食べてもらえるよう、食育も含めた安定的な給食提供に継続して取り組んでいく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	学校給食調理場施設維持管理事業												
測定年度	2021(R3)年度				部	総合教育部				課	おいしい給食課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標		16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち										
	実行計画名		16-3.学校園施設等の整備										
1. 事務事業の概要													
種類	内部管理				特性				内部事務		区分		一般内部管理事務
事業期間	不明				年度		~				年度まで		
根拠法令等	学校給食法												
関係補助金名称											サンセット		-
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット		枚方市立小中学校の学校給食調理場の設備等										
	サブターゲット		枚方市立小中学校で学校給食を喫食する児童生徒及びその保護者。										
	ターゲットが抱える課題		老朽化が進む調理場の効率的な維持管理や調理場のドライ化を進めなければならない。										
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	学校給食衛生管理基準に基づいた適切な施設維持管理が行われることにより、安全でおいしい給食を安定的に児童生徒に提供する。												
事業概要	共同調理場・単独調理場において下記の維持管理業務等を実施する。 …業務委託(塵芥処理・害虫駆除・各種設備定期点検・グリストラップ清掃等) …各種改修工事(建築物・設備)												

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
	児童・生徒に安全でおいしい給食が安定的に提供できる。				学校給食調理場の継続的な運用が可能になる。				必要な修理・修繕を実施する。					
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
	安全でおいしい給食を提供できた小・中学校数				修理・修繕により、継続的運用が可能になった調理場及び配膳室の数(全65か所)				修理・修繕の実施件数					
	単位 校				単位 か所				単位 件					
	指標種類 増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績		64	64	63	63	65	65	65	65	210	210	210	210
達成度		100%				100%				88%				
分析		適切な維持管理を行い、全小中学校に安全でおいしい給食を提供することができた。				必要とする修理・修繕を実施したことで、支障なく給食提供することができた。				緊急を含む必要な修理・修繕について実施したが、調理に問題がない部分については、予算面から次年度へ移行したのもあった。				
ロジックモデル②	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
	児童・生徒に安全でおいしい給食が安定的に提供できる。				学校給食調理場が適正に維持管理される。				必要な保守点検等を実施する。(塵芥処理・害虫駆除・各種設備定期点検・グリストラップ清掃等)					
指標設定②	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
	安全でおいしい給食を提供できた小・中学校数				保守点検等により、適正に維持管理された調理場数(全29か所)				保守点検等の実施件数					
	単位 校				単位 か所				単位 件					
	指標種類 増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績		64	64	63	63	29	29	29	29	18	21	22	23
達成度		100%				100%				86%				
分析		適切な維持管理を行い、全小中学校に安全でおいしい給食を提供することができた。				保守点検を確実に実施したことで、支障なく給食提供できる施設管理を行うことができた。				令和3年度に実施すべき保守点検については全て取り組むことができたが、今後必要とされる保守について洗い出しを行い取り組んでいくことが必要である。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.80
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	16,034	18,343	6,286		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	16,034	18,343	6,286		
	物件費計	79,323	59,013	83,024	86,452	96%
	歳出計	95,357	77,355	89,310		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	130,300	0	9,800	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計	0	0	0	9,800
	一般財源	95,357	59,012	83,024	76,652	

5. 総括的分析

総括的分析	必要な修理・修繕及び点検等については、滞りなく実施することができた。また、施設や設備の緊急対応以外の修理・修繕等については、事前調査のうえ状況を見極め実施するなど、適正な運用に努めた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	安全で衛生的な給食を安定的に提供できるよう、適正な施設の維持管理を継続していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	学校給食における地元農産物利用促進事業										
測定年度	2021 (R3) 年度			部	総合教育部			課	おいしい給食課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標		16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2017 (H29) 年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	学校給食法				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市立小学校給食を喫食する児童			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	農家の減少により地元農産物の給食食数を満たすだけの量の確保が困難になってきている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	地元産の食材を使用した学校給食を提供する。				
事業概要	小学校給食用食材として大阪府内産を含めた地元農作物の利用促進を図り、第3次枚方市食育推進計画の目標である「米・野菜類全体購入量に対する枚方産及び府内産購入量の割合を(重量ベース)38%の達成に向け、取り組みを進める。また、給食で使用する地元農産物を児童・保護者に周知し、食育の推進に繋げる。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
	地元農産物を使用することで、地域産業への関心や理解を深めるなどの食育を行うことが可能になる。	小学校給食用食材として、大阪府内産を含む地元農作物の利用が促進する。	小学校給食用食材として、大阪府内産を含む地元農作物を使用する。	
指標設定	指標説明	子どもたちが、大阪府の気候や環境で生産することができる米や野菜を知る。 【算出式: 枚方・大阪府内産農作物を使用した献立表にて周知した回数 / 全献立表周知回数 × 100】 [指標数値根拠] 学校給食で枚方・大阪府内産農作物を使用した際に全児童(全家庭)に配付する献立表(年11回発行)で周知した達成度	米・野菜類全体購入量に対する枚方・大阪府内産の割合(重量ベース) 【算出式: 枚方・大阪府内産の米・野菜の重量 / 米・野菜類全体の重量 × 100】 [指標数値根拠] 食育推進計画の目標値38%の達成度	大阪府内産を含む地元農作物の使用品目数
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位 %	単位 %	単位 品目
	達成度	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	分析	枚方・大阪府内産農産物を毎月給食に使用し、献立表において広く周知することができた。	前年度より使用割合は上昇したが、天候等の影響で、予定していた野菜等の購入が難しくなるなど、目標の達成には至らなかった。	枚方・大阪府内産農産物の使用量は増加したが、天候等の影響もあり、使用品目数の増加につなげることができなかった。
	実績	100 100 100 100	38 38 38 100 38 100	100 23 23 23

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	802	798	3,143		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	802	0	3,143		
	物件費計	0	0	0	0	—
	歳出計	802	0	3,143		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	802	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析 野菜類は枚方産・府内産合わせて17品目で46.2トン、うち枚方産は16品目(えんどう豆、玉葱、じゃが芋、かぼちゃ、なす、さつまいも、小松菜、チンゲン菜、ほうれん草、里芋、大根、白菜、キャベツ、人参、青葱、黒米)、27.9トンを使用し、米は年間を通して大阪府産を191.9トン使用した。天候等の影響により、昨年度より野菜の使用品目数は減ったが、米の使用量が増えたことで、枚方・大阪府内産の全体使用割合は増加した。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	農家数の減少や天候等により厳しい状況も懸念されるが、目標達成に向け検討を行いながら継続して実施していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	食物アレルギー対応推進事業											
測定年度	2021(R3)年度			部	総合教育部				課	おいしい給食課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標		16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち									
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	2017(H29)年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	学校給食法					
関係補助金名称					サンセット	
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	枚方市立小中学校で給食を喫食する食物アレルギーを持つ児童生徒				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	食物アレルギーを持つ児童生徒がアレルゲンのある給食を誤食してしまう。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	食物アレルギーを持つ児童生徒がアレルゲンのある給食を誤食しないよう安全な給食の提供方法を徹底できている状態。					
事業概要	食物アレルギー対応の適切かつ確かな取り組みを進める。 学校給食における食物アレルギー対応上の事故(救急搬送)件数(新規発症を除く)が0件となるよう、より一層の安全を確保する。 中学校給食において、7大アレルゲンを使用しない代替食の提供を毎日行う。					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	安心・安全な枚方の給食が提供される。				アウトプット (活動結果)	食物アレルギーを持つ児童生徒が、アレルゲンのある給食を誤食しないよう安全な給食が提供される。				インプット (活動)	「学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」に基づいた対応を実施する。			
	指標説明	学校給食における食物アレルギー対応上の事故(救急搬送)件数(新規発症を除く)				全給食提供回数のうち、調理場からアレルゲンのある給食を誤食しない安全な給食を提供した回数の割合 【算出式:安全な給食を提供した回数/全給食提供回数×100】				対応マニュアルに基づいた対応を実施している小・中学校数					
指標設定	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)	0	0	0	0	0	100	100	100	64	64	64	64		
	実績	0	0			0	100			64	64				
達成度					100%				100%						
分析	食物アレルギー対応献立表の活用等により、誤食等による救急搬送件数は0件であった。				通常食とアレルギー食の分離調理を確実に執行することで、安全な給食を提供することができた。				市内全校においてマニュアルに基づいた対応が実施できた。						

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.30
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,405	2,393	3,929		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	629		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	2,405	2,393	4,558		
	物件費計	0	0	0	0	—
	歳出計	2,405	2,393	4,558		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	2,405	0	4,558	0	

5. 総括的分析

総括的分析	学校と連携しながら、マニュアルに基づいた運用を適正に行うことで、食物アレルギーのある児童・生徒に対し安全な給食提供を実施することができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	食物アレルギーのある児童生徒が安心して給食を喫食できるよう、今後もマニュアルを遵守し安全な給食を提供していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	中学校給食充実事業												
測定年度	2021(R3)年度				部	総合教育部				課	おいしい給食課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標		16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち										
	実行計画名		16-2.快適で安心できる学習環境づくり										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性	選択的事业		区分	一般事務事業					
事業期間	2017(H29)年度				年度	~	年度まで					
根拠法令等	学校給食法											
関係補助金名称											サンセット	-
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット		枚方市立中学校で給食を喫食する生徒									
	サブターゲット		生徒の保護者									
	ターゲットが抱える課題		生徒たちの食生活の栄養の偏り、不規則な食事、肥満や生活習慣病の増加、過度の痩身志向などの課題									
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	生徒たちに学校給食を通じて、食育を行い生涯にわたって健全な心と身体を培い豊かな人間性をはぐくむ。											
事業概要	<p>中学校給食は、平成28年度から選択制ランチボックス方式により希望する生徒への提供を行っている。</p> <p>中学校全19校の給食を選択した生徒を対象に、第一学校給食共同調理場において調理、配送、食器・食缶等の洗浄、物資搬入管理、衛生・安全管理等の業務を委託で実施するとともに、米飯の炊飯や検便、施設の機械警備等の業務について業務委託により実施し、給食を提供。</p> <p>選択制の中学校給食について、喫食率向上に向けた取り組みを進める中で、今後のあり方を検討するにあたり、意見聴取会を設置。</p>											

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
		給食を通じて、生徒の心身の健康が育まれる。				各種取り組みを通じて、中学校給食が充実する。				中学校給食喫食率の向上に向けた取り組みを実施する。			
指標設定	指標説明	喫食率 【算出式: 給食を喫食した生徒数/全生徒数×100】				中学校給食新規喫食者数(年度当初月以降に新規で給食を喫食した人数)				中学校生徒への献立配付部数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	単位	%			単位	人			単位	部		
		目標(見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4
	実績	35	50	50	100	110	510	505	5,445	14,000	10,200	10,100	9,900
	達成度	33.80	35.10			352	206			12,800	12,080		
分析	70%				40%				118%				
分析	中学校給食における課題であった主食の量の調整や給食費の自動口座振替を実施することで、前年度より1.3%増加したが、目標達成には至らなかった。				給食を継続する生徒が増え喫食率は増加したが、新規利用者を増やすことができなかった。				生徒だけではなく、中学校給食のPRとしてスーパー等への配付を継続実施したことにより目標を達成することができた。				

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	1.60
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	12,026	7,975	12,571		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	12,026	0	12,571		
	物件費計	0	0	303,631	285,131	106%
	歳出計	12,026	0	316,202		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計	0	0	0	0
	一般財源	12,026	0	303,631	285,131	

5. 総括的分析

総括的分析	中学校給食における課題であった主食の量の調整や給食費の自動口座振替を実施することで利便性を図り、現在給食を喫食している生徒への継続利用にはつなげられたが、新規利用者の増加を図ることができなかった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も中学校給食における課題を検証・改善し、改善した内容について広くPRしていくとともに、利用しやすく魅力ある給食への手法を検討しながら、喫食率向上に向け取り組んでいく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	樟葉西小学校給食調理場改修事業											
測定年度	2021(R3)年度			部	総合教育部			課	おいしい給食課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4						
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標		16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち									
	実行計画名		学校園施設等の整備									
1. 事務事業の概要												
種類	市民サービス			特性	非選択的的事业			区分	非選択的の事務事業			
事業期間	R3年度(2021年度)			年度	~	R4年度(2022年度)			年度まで			
根拠法令等	学校給食法											
関係補助金名称							サンセット					
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット		市立樟葉西小学校児童									
	サブターゲット		市立樟葉西小学校児童の保護者									
	ターゲットが抱える課題		建築後45年が経過する中で、学校に併設する最も古い単独の調理場の一つであり、地盤沈下により壁部分が沈み天井等との隙間ができるなど不具合があり、安定的かつ、安心・安全な給食の提供が受けられない。									
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	調理場で衛生面と機能面の充実を図った改修後のドライシステムで、樟葉西小学校児童等に安定して継続的に、安全・安心な給食を提供できるようになる。											
事業概要	「第三学校給食共同調理場老朽化対策事業」が令和2年度に完了し、小学校単独調理場の整備の間における配送体制が整うことから、残る単独調理場については、その老朽化対策とドライシステム導入が喫緊の課題となっているため、順次整備を進めることとなっています。(平成30年3月30日今後の調理場の整備及び運営形態について(方針決裁))樟葉西小学校調理場は、建築後45年が経過する中で、学校に併設する最も古い単独の調理場の一つであり、地盤沈下により壁部分が沈み天井等との隙間ができるなど使用にあたって、不具合が生じている。また、冷凍・冷蔵設備や給排水設備などの改修が喫緊の課題となっている。このことから、経費・工期の縮減が見込める既存の建物を活用する長寿命化改修工事を行い、ドライシステム調理場として整備する。											

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
	樟葉西小学校児童等に安定して継続的に、安全・安心な給食を提供できる。	新樟葉西小学校給食調理場を供用することで、安全・安心な給食の調理が可能になる。				樟葉西小学校給食調理場改修を実施。						
指標説明	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
	衛生面が充実した給食を食べる児童数				安全で安心な給食調理可能数(新樟葉西小学校給食調理場で調理可能な食数)				改修の進捗状況(設計・仮配膳室設置・解体・建築・備品整備・仮配膳室撤去) 【算出式:実施数/計画数×100】			
指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	単位	人	単位	食	単位	%						
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	—	710	0	500	—	800	0	800	—	17	67
実績	—	710			—	800			—	17		
達成度	100%				100%				100%			
分析	設計委託における調理場内の調査を夏季休業期間に実施したため、令和3年度の給食実施日に滞ることなく、全児童に衛生的で安全な給食提供を実施することができた。				設計委託における調理場内の調査を夏季休業期間に実施するとともに、調理場内で不具合等が発生した場合は早急に修繕等の対応を行うなど、安全で安心な調理場管理に努め、確実な給食実施に取り組めた。				次年度の工事に向けて、給食調理場長寿命化改修における設計委託を実施した。			

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	—	3,143		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	—	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	—	—	3,143		
	物件費計	—	—	0	0	—	
歳出計		—	—	3,143			
歳入	国庫支出金	—	—	0	0		
	府支出金	—	—	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	—	—	0	0		
	市債	—	—	0	0		
	その他	—	—	0	0		
	歳入計	—	—	0	0		
一般財源		—	—	3,143	0		

5. 総括的分析

総括的分析	これまでの老朽化対策やドライシステム導入の調理場を参考に、設計委託業者や関係部署、実際に調理場で業務を行う栄養士や調理師と打ち合わせを重ね、衛生面、運用面等においてより良い調理場の建設に向けた設計を行うことができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	工事開始に向け、工事期間中の仮配膳室や安全を確保した給食配送ルート等について、学校等と調整を図り確定していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	新型コロナウイルス感染症対策事業(感染拡大防止対策事業)										
測定年度	2021(R3)年度			部	総合教育部			課	おいしい給食課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標		16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	R3年度(2021年度)		年度	~	年度まで
根拠法令等					
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	小中学校児童生徒と保護者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	給食準備から喫食及び片付けまでの感染リスク			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	学校給食提供における感染防止対策を行うことで、安心して給食を喫食できる。				
事業概要	学校給食提供における感染防止対策の計画を立て実施していく。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)	
	児童・生徒がより安全な環境で給食を喫食できる。	感染防止対策が整った環境での給食提供が可能になる。	学校給食提供における感染防止対策を実施する。 (配膳関係備品・衛生用品の整備、パンの個包装等 全10対策)	
指標設定	指標説明	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
	感染防止対策がなされた安全な環境で給食を喫食できる小中学校数	感染防止対策計画の実施率 【算出式: 実施数/計画数×100】	感染防止対策計画数	
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位 校	単位 %	単位 計画
	目標(見込み)	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	実績	— 64 — —	— 100 — —	— 10 — —
達成度	100%	90%	90%	
分析	配膳室の環境整備や給食調理及び提供における適正運用により、安全な環境で給食提供を行うことができた。	危機的な感染拡大における措置として、小学校給食におけるパンの個包装での提供を想定していたが、配膳における適正運用により、衛生的に実施できたため、実施しなかった。	危機的な感染拡大における措置として、小学校給食におけるパンの個包装での提供を想定していたが、配膳における適正運用により、衛生的に実施できたため、実施しなかった。	

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.25
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	—	—	1,964		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	—	0		
	特別職非常勤	—	—	0		
	附属機関委員	—	—	0		
	人件費計	—	—	1,964		
	物件費計	—	—	27,983	64,995	45%
	歳出計	—	—	29,947		
歳入	国庫支出金	—	—	0	0	
	府支出金	—	—	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	—	0	0	
	市債	—	—	0	0	
	その他	—	—	0	0	
		歳入計	—	—	0	0
	一般財源	—	—	27,983	62,683	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症が終息しない中においても、給食の調理、提供、喫食についての衛生的環境を整備し、安全で安心な給食の実施に取り組むことができました。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も、安全で安心に子どもたちが給食を喫食できる環境整備について、引き続き継続して取り組んでいく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	新型コロナウイルス感染症対策事業(学校臨時休業対策事業)										
測定年度	2021(R3)年度			部	総合教育部			課	おいしい給食課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	R2年度(2020年度)		年度	~	年度まで
根拠法令等					
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	小中学校児童生徒と保護者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	学校臨時休業時及び新型コロナウイルス感染症にかかる出席停止時の保護者の給食費負担			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	新型コロナウイルス感染症に伴う学校臨時休業時の学校給食休止及び出席停止者における給食費の負担を軽減するとともに、学校給食の適正運用を図る。				
事業概要	新型コロナウイルス感染症に伴う学校臨時休業時の給食休止及び出席停止者における給食費を補助する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)	
	新型コロナウイルス感染症の影響下での学校給食の適正運用が可能になる。	給食費の補助により、保護者負担が軽減できる。	新型コロナウイルス感染症に伴う学校臨時休業時及び出席停止時における給食費の補助	
指標設定	指標説明	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
	適正運用率 【算出式: 給食費補助額/(学校臨時休業日数×給食費+出席停止日数×給食費)×100】	学校臨時休業及び出席停止期間における給食費の保護者負担額。	新型コロナウイルス感染症に伴う学校臨時休業時及び出席停止時における給食費補助食数	
	指標種類	増加することが良いとされる指標	減少することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位: %	単位: 円	単位: 食
	目標(見込み)	R2: 100, R3: 100, R4: -, R5: -	R2: 0, R3: 0, R4: -, R5: -	R2: 32,346, R3: 119,569, R4: -, R5: -
	実績	R2: 100, R3: 100, R4: -, R5: -	R2: 0, R3: 0, R4: -, R5: -	R2: 20,555, R3: 119,569, R4: -, R5: -
達成度	100%			
分析	適正な運用を行うことができた。	保護者の負担額がないことが目標となっており、実績も負担はなかったことから、達成度は100%である。	対象となる児童生徒に対する給食費について、全額を補助することができた。	

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.25
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	—	8,773	1,964		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	—	8,773	1,964		
	物件費計	—	119,260	48,917	57,333	85%
	歳出計	—	128,033	50,881		
歳入	国庫支出金	—	22,889	0	0	
	府支出金	—	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	0	0	0	
	市債	—	0	0	0	
	その他	—	0	0	0	
	歳入計	—	22,889	0	0	
	一般財源	—	96,371	48,917	57,333	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症に伴う臨時休業及び出席停止の児童生徒に対し、給食費の負担なく適正な運用ができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	新型コロナウイルス感染症に伴う出席停止等においても、学校給食について、保護者や児童生徒が安心できる対応を継続できるよう引き続き取り組んでいく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	おいしい給食課運営事務													
測定年度	2021(R3)年度				部	総合教育部				課	おいしい給食課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外											
	施策目標		99.施策体系外											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	内部管理				特性	庶務的事務				区分	庶務的内部管理事務			
事業期間	不明				年度	~				年度まで				
根拠法令等	決裁													
関係補助金名称											サンセット			
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		おいしい給食課職員・職場											
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題		おいしい給食課の各事業が円滑に執行できない。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	おいしい給食課の各事業が円滑に執行できている状態。													
事業概要	課の運営事務													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
指標設定	指標説明													
	指標種類		単位		単位		単位		単位		単位		単位	
	指標数値	目標(見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績												
	達成度													
	分析													

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	2.90
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.20
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	40,887	46,113	22,785		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	3,561	0	419		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	44,448	46,113	23,204		
	物件費計	4,787	308	2,366	2,602	91%
	歳出計	49,235	46,421	25,570		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	37	0	0	
	歳入計	0	37	0	0	
	一般財源	49,235	271	25,570	2,602	

5. 総括的分析

総括的分析	各運営事務について、組織として円滑に事務執行を行うことにより、安全で栄養バランスのとれた美味しい学校給食を確実に児童・生徒へ提供できた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	他部局や各調理場との連絡、調整を図りながら、正確かつ迅速に事務処理を行い、円滑な事務執行を行う。